

行政事業レビュー公開プロセス(6月6日)

(事業名)若者の「使い捨て」が疑われる企業等への対応強化

評価結果

事業内容の一部改善

廃止	1	人
事業全体の抜本的な改善	2	人
事業内容の一部改善	3	人
現状通り	0	人

<とりまとめコメント>

- ・ 若者向けに実施する事業であることを考慮し、SNSなど若者が利用するツールを活用した事業実施など、改善を行うべきである。
- ・ 大学・高校の学生・生徒への労働教育の実施に当たっては、視聴媒体やeラーニングの工夫や活用など、若者に効果的・効率的に実施できるよう、改善策を検討すべきである。
- ・ 事業名と内容が乖離している。実態に合わせるべきである。

<具体的なコメント>

○評価を選択した理由・根拠

- ・改善案を着実に実行するとともに、「ほっとライン」の電話番号を見つけやすい動線作りに、より励んでもらいたい。
- ・労働条件サイトも「ほっとライン」も、ブラックバイト等に苦しむ若者等がきちんとリーチできるように改善する必要がある。
- ・高校や大学で必要なら、カリキュラムにした方がよい。

○改善の手法や事業見直しの方向性

- ・「ほっとライン」については、現在の電話以外にも、メールやSNS等の利用も追加し、若者がアクセスしやすい仕組みにすべき。
- ・直接的なセミナー等に拘泥せず、動画配信、eラーニングなど電子的手法を活用した情報提供に中心を移すべきである。
- ・大学において実施するセミナーに要する予算及び人的資源をオンラインによる情報提供を行うものへ振り替えるべき。